

Kansai Economic Insight Monthly

2014/12/24

Vol.20 November/December

- ・APIR “Kansai Economic Insight Monthly”は、関西経済とそれに関連する中国経済の動向に関する分析レポートです。
- ・本レポートの内容は、公益社団法人関西経済連合会『関西経済レポート』と連携しています。
- ・レポート公開時期は毎月第二週金曜日を予定しています。
- ・執筆者は、稲田義久（甲南大学教授、APIR 数量経済分析センター長）、岡野光洋・林万平・木下祐輔・James Brady（各APIR 研究員）です。
- ・本編内の中国景気モニターは、APIR 中国経済分析のプロジェクトによるものであり、関西経済分析と連動して定期的に発信します。
- ・本レポートにおける「関西」は、原則として滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府4県です。統計出所を発表している省庁などが「近畿」としている場合も「関西」に統一しています。

目次

要旨	1
景気の現況	2
関空モニター	8
中国景気モニター	9
主要月次統計	12
Release Calendar	13

要旨

- ✓ 10月の鉱工業生産指数は前月比+0.9%と2カ月連続の上昇。関西の生産は在庫調整局面にあり、今後引き続き注意が必要。
- ✓ 11月関西の貿易は、輸出は21カ月連続で増加した。輸入は3カ月ぶりに減少した。結果、貿易収支は2カ月ぶりの赤字となるも、前年同月から改善。
- ✓ 11月の景気ウォッチャー現状判断DIは2カ月連続の悪化。先行き判断DIは3カ月連続の悪化。同月の消費者態度指数は4カ月連続の前月比悪化で、消費増税直前のボトムと並んだ。消費者心理の停滞感が増してきた。
- ✓ 9月の現金給与総額の伸びは関西2府4県、関西コアともに7カ月連続のプラスとなり、伸びは前月から加速。
- ✓ 10月の大型小売店販売額は4カ月連続の前月比プラス。百貨店も4カ月連続のプラス。スーパーは3カ月連続のプラス。消費は増税後緩やかながら改善を続けている。
- ✓ 10月の新設住宅着工戸数は前年月-27.3%と2桁減が2カ月続いた。持家、貸家、分譲がそれぞれ同20%超の大幅減となった。
- ✓ 10月の有効求人倍率は2カ月ぶりに改善し、6-8月と同程度の高水準。新規求人倍率は改善が続いており、雇用情勢は堅調。失業率は非労働力人口増加により、前月から小幅下落し、2カ月ぶりの改善。
- ✓ 11月の公共工事請負金額は前年比-20.0%と2カ月ぶりの大幅減少。季節調整値でも前月比-32.4%と2カ月連続の大幅減少。公共工事受注は減速感が強まっている。
- ✓ 10月の建設工事は前年比+3.0%と30カ月連続の増加も、伸びは7カ月連続で1桁となった。全国的に伸びは減速している。
- ✓ 2014年の関空における訪日外客数は歴史的な高水準を記録している。10月は303,140人で、前年比+48.5%の増加。
- ✓ 11月の中国製造業購買担当者景況指数(PMI)は、2カ月連続で前月から悪化。全ての項目で景況指数は悪化した。11月の新築住宅価格は多くの都市で引き続き前月から下落しており、下半期の中国経済は下振れリスクに直面している。

【関西経済のトレンド】

	2013年	2014年										
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
生産	➡	➡	➡	⬇	⬆	⬆	⬇	⬆	⬇	⬆	⬆	
貿易	⬇	⬇	⬆	⬇	⬆	➡	⬇	⬆	➡	➡	⬆	⬆
センチメント	➡	⬇	⬇	⬇	⬇	⬆	⬆	⬆	⬇	⬇	⬇	⬇
消費	⬆	⬆	⬆	⬆	⬇	➡	➡	➡	⬆	⬆	⬆	
住宅	⬆	⬆	⬇	➡	⬆	⬇	➡	⬇	⬆	⬇	⬇	
雇用	⬆	⬆	➡	➡	➡	⬆	➡	➡	➡	➡	⬆	
公共工事	⬆	⬇	⬇	⬇	⬆	⬆	➡	➡	➡	⬇	⬆	⬇
中国	➡	➡	➡	➡	➡	➡	⬆	⬆	⬇	⬆	➡	⬇

【鉱工業生産動向】

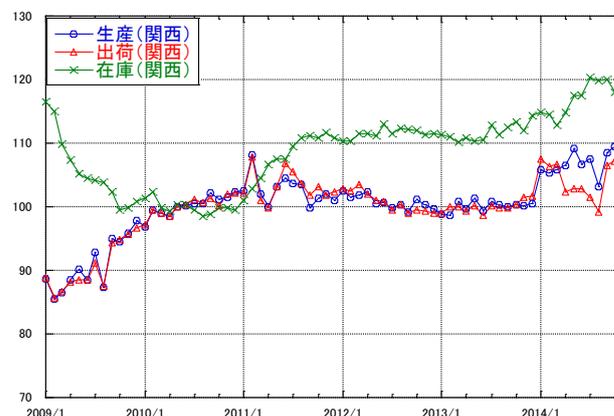
(1) 関西の生産動向

10月の鉱工業指数（速報値：季節調整済）を見ると、生産は109.6で前月比+0.9%、出荷は107.2で同+0.7%といずれも2カ月連続の上昇。在庫は118.1で同-1.6%と2カ月ぶりの下落となった。

業種別に生産指数をみると、はん用・生産用・業務用機械（同+9.7%）、情報通信機械（同+4.7%）、非鉄金属（同+2.7%）等が上昇した。一方、金属製品（同-8.9%）、電子部品・デバイス（同-5.4%）、窯業・土石製品（同-5.0%）等が下落した。

生産・出荷は前月に引き続き上昇したものの、在庫は減少に転じた。在庫循環図（APIR Kansai Economic Insight Quarterly No.24 参照）によれば、関西の生産動向は在庫調整局面に入っており、今後は注意が必要である。

鉱工業指数の推移(関西：2014年10月まで、平成22年=100)



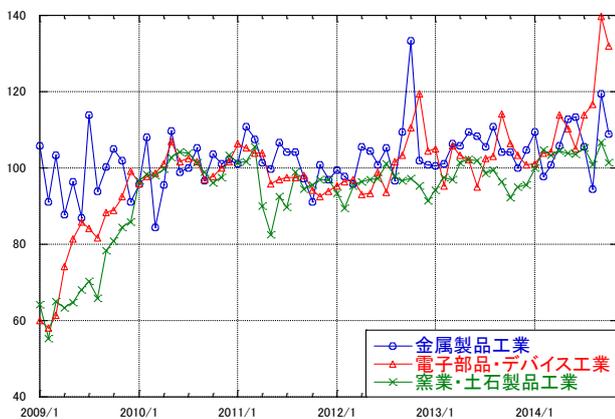
(注) 福井県を含む。

(出所) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」

業種別生産指数の推移(関西：2014年10月まで、平成22年=100)



業種別生産指数の推移 (続き)



(注) 福井県を含む。

(出所) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」

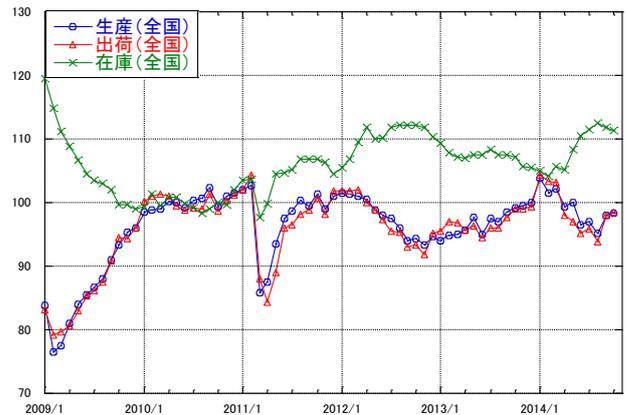
(2) 全国の生産動向

全国における10月の鉱工業生産指数(確報値、季節調整済)は98.4となり前月比+0.4%、出荷は98.6で同+0.6%といずれも2カ月連続の上昇。在庫は111.3で同-0.4%と2カ月連続の下落となった。

業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(同+4.2%)、電気機械(同+3.4%)、電子部品・デバイス(同+1.4%)等を中心に増産となった。一方、輸送機械(同-1.8%)、情報通信機械(同-6.2%)、窯業・土石製品(同-2.0%)は減産となった。

速報における製造工業生産予測調査では、10月(同-0.1%)は僅かに減産であったが、足下、生産は小幅増産となった。同調査によれば、11月(同+2.3%)、12月(同+0.4%)と増産の見込みである。

鉱工業指数の推移(全国：2014年10月まで、平成22年=100)



(出所) 経済産業省「鉱工業指数」

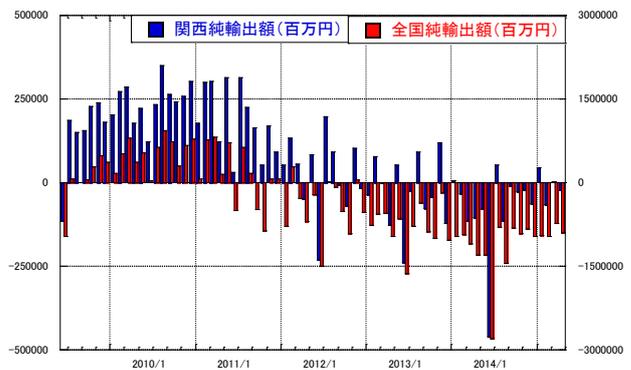
【貿易動向】

(1) 純輸出

貿易概況(速報値)によれば、11月関西の貿易収支は-219億円と2カ月ぶりの赤字となったが、前年同月比-79.3%縮小した。全国11月の貿易収支(速報値)は-8,919億円と29カ月連続の赤字も、赤字幅は同-31.5%縮小した。

関西純輸出(左軸：百万円)・全国純輸出(右軸：百万円)推移

(2014年11月まで)



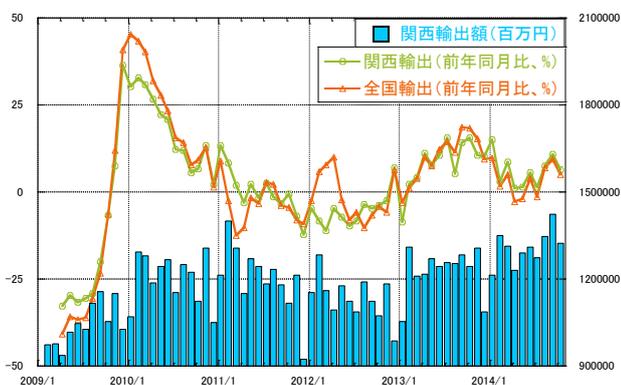
(出所) 大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」

(2) 輸出

関西11月の輸出額(速報値)は1兆3,224億円となり、前年同月比+6.4%と21カ月連続の増加。財別に見れば、輸出増加に主に貢献したのは、半導体等電子部品、科学光学機器であり、いずれも単月過去最高額を記録した。一方、船舶と鉱物性燃料が減少となった。

全国 11 月の輸出額(速報値)は 6 兆 1,889 億円となり、前年同月比+4.9%と 3 カ月連続の増加。財別に見れば、半導体等電子部品、科学光学機器、金属加工機械等の輸出が増加したが、船舶は減少した。

輸出(右、百万円)・前年同月比(左、%)推移(2014 年 11 月まで)



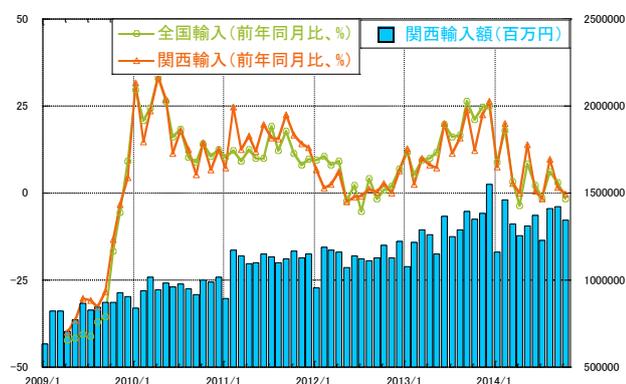
(出所) 大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」

(3) 輸入

関西 11 月の輸入額(速報値)は 1 兆 3,443 億円、伸びは前年同月比-0.3%と 3 カ月ぶりの減少。財別に見れば、天然ガス及び製造ガス(単月過去最高額)、有機化合物等が増加したものの、原油及び粗油、医薬品の輸入は減少した。

全国 11 月の輸入額(速報値)は 7 兆 807 億円、前年同月比-1.7%と 3 カ月ぶりの減少。財別に見れば、液化天然ガス、通信機が増加したものの、原粗油、石油製品、石炭等の輸入が減少した。

輸入(右、100 万円)・前年同月比(左、%)推移(2014 年 11 月まで)



(出所) 財務省「財務省貿易統計」

(4) 関西の地域別貿易

11 月関西の貿易収支を地域別に見ると、対アジア貿易収支は前年比+963 億円と 10 カ月連続の黒字であり、黒字幅は 5 カ月連続で拡大した(同+230.5%)。輸出は 3 カ月連続のプラス(同+7.2%)。財別に見れば、半導体等電子部品(同+16.6%)、科学光学機器(同+14.3%)等が増加した。輸入は 3 カ月ぶりのマイナス(同-0.8%)。財別に見ると、原油及び粗油(同-45.8%)、がん具及び遊戯用具(同-27.0%)等が減少した。

うち、対中貿易収支は-1,440 億円と 33 カ月連続の赤字。赤字幅は 5 カ月連続で前年同月から縮小した(前年比-20.6%)。輸出は 8 カ月連続で増加(同+6.7%)。一方、輸入は 3 カ月ぶりの減少(同-3.5%)であった。

対米貿易収支は+709 億円と黒字基調が続いており、黒字幅は 3 カ月連続で前年から拡大した(前年比+39.8%)。うち、輸出は 6 カ月連続の増加(同+18.7%)。財別に見れば、電池(同+84.2%)、鉄鋼(同+45.2%)等が増加した。輸入は 7 カ月連続の増加(同+6.9%)であり、財別に見れば、天然ガス及び製造ガス、石炭等が増加した。

対 EU 貿易収支は+43 億円と 3 カ月ぶりの黒字となり、前年から 70 億円改善した。うち、輸出は 2 カ月連続の増加(同+1.7%)。財別に見れば、科学光学機器(同+63.8%)、有機化合物(同+32.7%)等が増加した。輸入は 3 カ月ぶりの減少(同-3.8%)。財別に見れば、医薬品(同-16.3%)、たばこ(同-38.1%)等が減少した。

【消費者センチメント】

(1) 消費者態度指数の動向

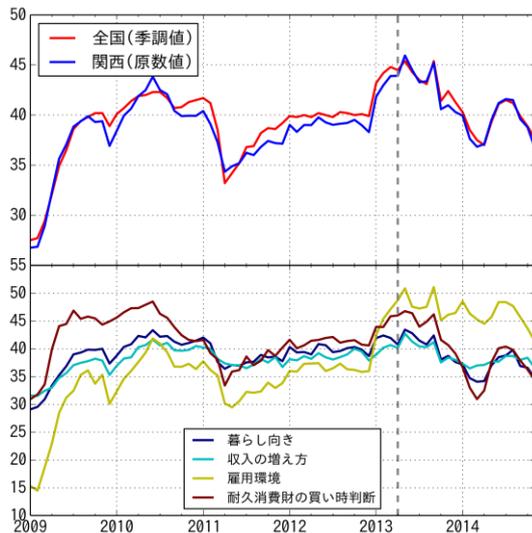
関西の 11 月の消費者態度指数(原数値)は前月比-2.0 ポイントの 36.8 と、4 カ月連続の悪化。消費増税直前(2014 年 3 月)のボトム水準と並ぶ結果となり、消費者心理の停滞感が増してきた。

同指数の構成項目をみると、4 つの指標全てが前月からマイナスとなった。「暮らし向き」は同-1.8 ポイントと 3 カ月連続のマイナス。「雇用環境」は同-2.3 ポイント、「耐久消費財の買い時判断」は同-1.9 ポイントといずれも 4 カ月連続のマイナス。「収入の増え方」も同-1.8 ポイントと 2 カ月ぶりにマイナスに転じた。

なお全国の11月の消費者態度指数(季節調整値)は37.7となり、同-1.2ポイントと4カ月連続の悪化。

全国では44.0となり、同-2.6ポイントの低下。6カ月連続で悪化している。

消費者態度指数(2014年11月まで)

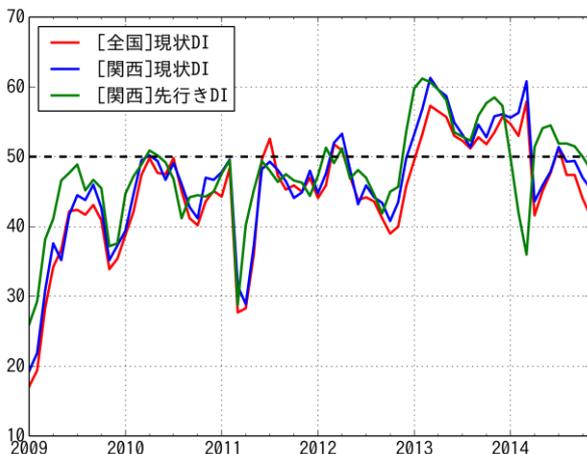


(出所) 内閣府「消費動向調査」(平成26年12月10日公表)

(2) 景気ウォッチャー指数の動向

関西の11月の現状判断DIは前月比-1.6ポイント下落し45.4となった。2カ月連続のマイナスとなり、4カ月連続で50を下回った。一方全国は同-2.5ポイントと2カ月連続で下落し41.5となった。2014年4月(41.6)以来の低水準。

景気ウォッチャー調査(2014年11月まで)



(出所) 内閣府「景気ウォッチャー調査」(平成26年12月8日公表)

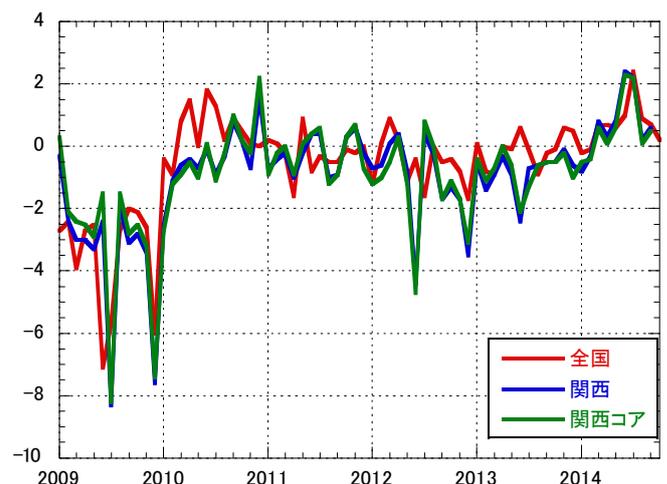
先行き判断DIは、関西では同-1.8ポイント低下し、48.2となった。3カ月連続の悪化で、8カ月ぶりに50を下回った。

【所得・個人消費・住宅】

(1) 現金給与総額

9月の関西2府4県の現金給与総額(APIR推計)は26万2,130円で前年比+0.6%と7カ月連続のプラスとなり、前月(同+0.2%)から伸びが加速した。府県別では、京都府で伸びが最も大きく前年比+1.7%、大阪府では伸びが前月(-0.2%)から+0.6%ポイント上昇し、前年比+0.4%と再びプラスになった。一方、和歌山県では前月(同+1.9%)から-0.6%ポイント低下し、前年比+1.3%となった。その他は奈良県同+1.3%、滋賀県同+1.2%であった。

現金給与総額(前年同月比: %, 2014年10月まで)



(注) 関西・関西コア(京都、大阪、兵庫)はAPIR推計値。現金給与総額を当該常用労働者数(平成23年平均)で加重平均。

(出所) 厚生労働省「毎月勤労統計調査」(12月18日公表)

また、京都・大阪・兵庫の加重平均をとった「関西コア」賃金指数(APIR推計)は9月が同+0.5%とこちらも7カ月連続のプラスとなり、前月(同+0.1%)と比べると伸びは加速した。産業別では、生活関連サービス等や金融業・保険業で大きく上昇していた。

全国(確報値)では、10月は同+0.2%(速報値: +0.5%)と8カ月連続のプラスとなったものの、伸びは大幅に減速した。内訳をみると、所定内給与は前年比で+0.1%と5カ月連続

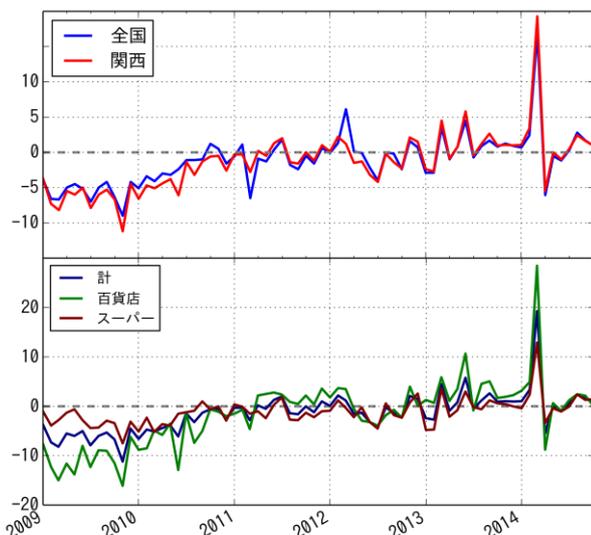
の上昇だが伸びは減速、所定外給与は同+1.2%で伸びは減速、特別給与が同-0.1%と大幅な低下となった。現金給与総額から物価上昇分(帰属家賃を除く総合)を除いた実質賃金は同-3.0%と前月と横ばいで16カ月連続の減少であった。

(2) 大型小売店販売額

関西の10月の大型小売店(百貨店+スーパー)の販売額(全店ベース)は、前年同月比+1.0%と4カ月連続のプラス。百貨店も同+0.2%と4カ月連続のプラス。スーパーも同+1.5%と3カ月連続のプラス。

全国でも、10月の大型小売店販売額(全店ベース)は同+1.0%と4カ月連続のプラスとなっており、関西、全国ともに消費は増税後緩やかながら改善を続けている。

大型小売店販売額 (前年同月比 : %, 2014年10月まで)



(注) 福井県を含む。

(出所) 経済産業省「商業動態統計」(平成26年11月28日公表)

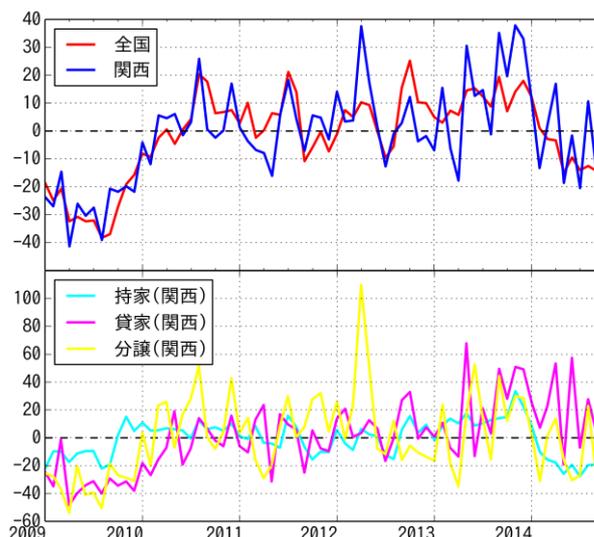
(3) 新設住宅着工の動向

関西の10月の新設住宅着工戸数は10,816戸。前年同月比-27.3%と2カ月連続の2桁減となった。全国でも同-12.3%と8カ月連続で減少している。

関西の住宅着工を利用関係別にみると、持家は同-29.6%と9カ月にわたって2桁の大幅減が続いている。分譲も同-28.4%と2桁減が2カ月続いている。貸家も、同-25.2%と2カ月ぶりの大幅減となった。

なお、10月の関西マンション契約率は72.8%(季節調整値、APIR推計)となった。好不調の目安となる70%を38カ月連続(原数値は9カ月連続)で上回り、販売は好調を維持している。

新設住宅着工(前年同月比 : %, 2014年10月まで)

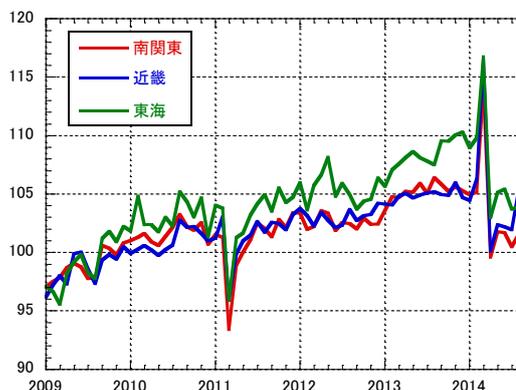


(出所) 国土交通省「住宅着工統計」(平成26年11月28日公表)

(4) 地域別消費動向指数

関西の9月の地域消費別動向指数(季節調整値)は102.0。前月比-3.5と3カ月ぶりの低下。全国11地域の中では、前月からの減少幅が最も大きい。関西を府県別にみると、大阪府が前月比-9.5(8月:111.4 9月:101.9)と突出している。兵庫県は前月比+2.4、京都府はほぼ横ばい、その他の県は小幅なマイナスである。関西の消費は、大型小売店が好調を維持しているが、全体としては今後の動向に注視が必要である。

地域別消費動向指数 (季節調整値、2014年9月まで)



地域	北海道	東北	北関東	南関東	東海	北陸
指数	102.5	103.3	103.0	102.4	105.4	103.5
前月比	-1.3	0.3	-0.9	0.8	1.5	0.4

地域	近畿	中国	四国	九州	沖縄
指数	102.0	102.9	101.7	102.0	116.7
前月比	-3.5	-0.1	1.3	1.4	0.7

(出所) 内閣府 「地域別消費動向指数」 (11月28日公表)

【雇用動向】

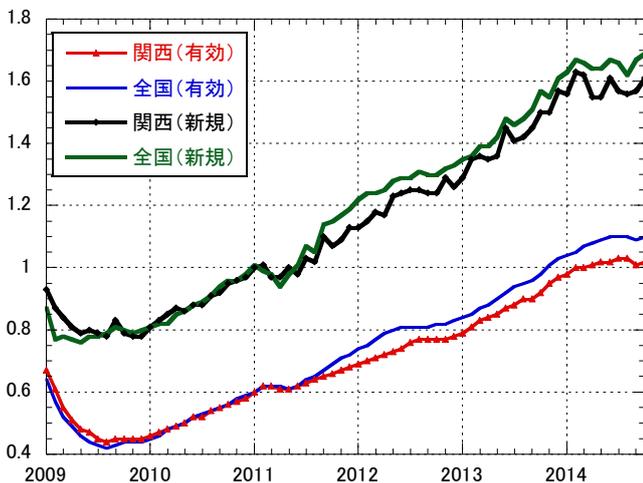
(1) 求人倍率の動向

10月の関西の有効求人倍率は、1.02倍と前月比+0.01ポイント上昇し、2カ月ぶりの改善となった。全国は1.10倍で前月比+0.01ポイント上昇し、こちらも2カ月ぶりの改善。6～8月の高水準に戻った。

10月の関西の新規求人倍率は、1.61倍と前月比+0.04ポイント上昇し、2カ月連続の改善。生活関連サービス、宿泊・飲食サービス業が伸びており、外国人観光客増加が背景にあるとみられる。全国は1.69倍と同+0.02ポイントでこちらも2カ月連続の改善。雇用情勢は堅調。

関西の有効求人倍率を府県別にみると、多くの府県で改善したが、和歌山県で受理地別・就業地別ともに下落した。

有効求人倍率の推移 (季節調整値、2014年10月まで)



(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況 (平成26年11月28日発表)

関西2府4県有効求人倍率(2014年10月)

10月	全国	関西	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
受理地別	1.10	1.02	0.96	1.03	1.10	0.91	0.92	0.97
就業地別	1.10	1.01	1.11	1.08	0.98	0.98	1.03	1.06

(2) 完全失業率の推移

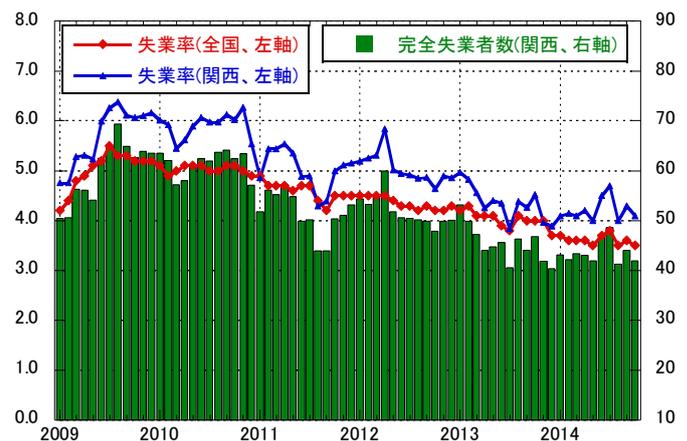
10月の関西の完全失業率(季節調整値: APIR 推計)は4.1%となり、前月(4.2%)から-0.1%ポイント小幅下落し、2カ月ぶりの改善となった。非労働力人口の増加が失業率の低下要因とみられる。

結果、関西の完全失業者数(季節調整値: APIR 推計)は42.0万人。前月(44.0万人)から2万人減少した。

全国の完全失業率(季節調整値)は3.5%となり、前月(3.6%)から-0.1%ポイント小幅下落。男性の失業率は同+0.1%ポイント上昇、女性は同-0.2%ポイント低下した。

全国の就業率(原数値ベース)をみると、73.1%と前月(73.2%)と比べて下落したものの、高水準が続いている。15～64歳の女性の就業率は64.5%と過去最高を更新した。

完全失業率の推移 (季節調整値: %, 万人、2014年10月まで)



(出所) 総務省「労働力調査」 (平成26年11月28日発表)

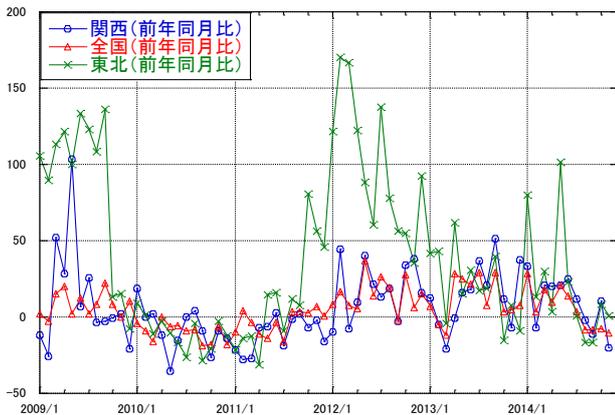
【公共投資】

(1) 公共工事請負金額

11月関西の公共工事請負金額は889億円で前年同月比+20.0%と2カ月ぶりの大幅減少。全国は8,438億円で同-10.4%と5カ月連続で減少。東北は1,803億円で同+1.0%と、2カ月連続の増加も、伸びは前月(同+8.7%)から減速した。

季節調整値(APIR 推計)で見ると、関西、全国共に2カ月連続で前月から大幅な減少となった(関西: 同-32.4%、全国: 同-30.9%)。公共工事受注は減速感が強まっている。

公共工事請負金額(前年同月比：％、2014年11月まで)

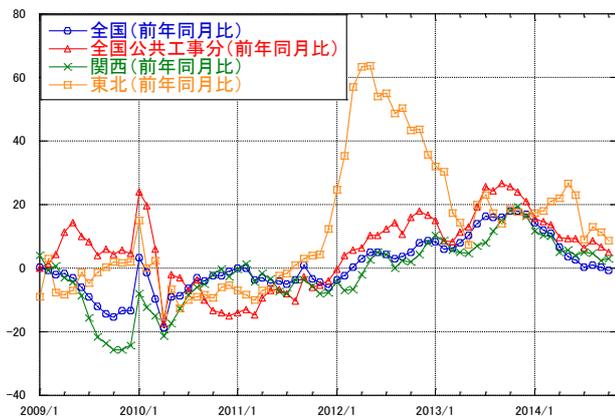


(出所) 東日本建設業保証株式会社「公共工事前払金保証統計」

(2) 建設工事

関西 10 月の建設工事は 5,565 億円、前年同月比+3.0%と 30 カ月連続の増加も、伸びは 7 カ月連続で 1 桁となった。東北は 5,960 億円、同+8.6%と 39 カ月連続の増加も、伸びは前月(同+11.4%)から低下し 1 桁となった。全国は 4 兆 5,226 億円となり同-0.6%と 32 カ月ぶりの減少。全国の公共工事は 2 兆 988 億円と同+5.1%と 33 カ月連続の増加も伸びは 7 カ月連続で 1 桁にとどまった。住宅着工の落ち込み等により全国がマイナスに転じた他、関西も 1 桁が続く等、建設工事の伸びは減速している。

建設工事(前年同月比：％、2014年10月まで)



(出所) 国土交通省「建設総合統計」

【関空モニター】

(1) 外国人入国者トレンド

関空における足下の訪日外客数と出国日本人数の推移をみると、2014 年の訪日外客数は歴史的な高水準を記録している。4 月の訪日外客数は初めて出国日本人数を上回り、5 月、7 月と 10 月にも高い水準を維持している。10 月の関空への訪日外客数は 303,140 人(前年同月比+48.5%)で、関空からの出国日本人数は 265,170 人(同-8.0%)となった。

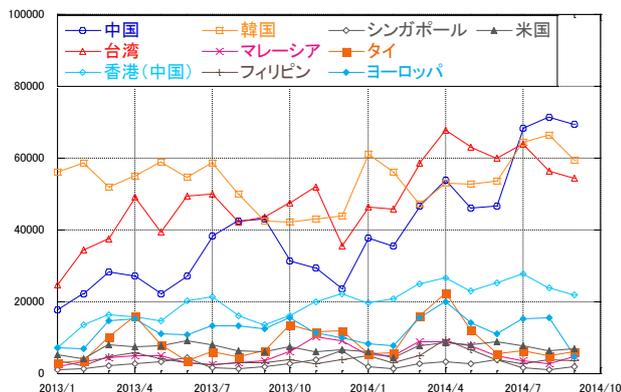
訪日外客数と出国日本人数(関空,2014年10月まで)



(出所) 一般財団法人関西空港調査会「KANSAI 空港レビュー」

訪日外客数を地域別にみると、9 月は中国からの入国が 69,365 人(うち香港：21,794 人)と最も多く、前年同月から 60.8%(香港：62.1%)増加した。次いで韓国からの入国者数は 59,533 人と同 40.2%増加した。3 番目は台湾からで 56,295 人の入国があった(同+25.3%増加)。全体で見れば、関空に入国する外国人客数の約 4 分の 3 をアジアが占めている。

地域別訪日外客数(関空,2014年9月まで)



(出所) 法務省「出入国管理統計」

アジア地域以外では米国からの入国が多く、9月の入国者数は7,028人だった。前年同月比12.0%の増加。その他、マレーシア(4,879人、同+29.0%)、フィリピン(3,632人、同+20.2%)、シンガポール(2,074人、同+7.9%)はいずれも前年比で増加した。一方、タイ(6,087人、同-5.6%)とヨーロッパ(4,879人、同-61.1%)は前年比減少した。

この1年(2013年10月~2014年9月)を通じて最も入国が多かったのは台湾(652,000)からで、韓国(644,000)、中国(560,000、うち香港、264,000)と続く。

【中国景気モニター】

(1) センチメント

11月の製造業購買担当者景況指数(PMI)は、50.3となり、前月から-0.5ポイント低下し、2カ月連続の悪化。

うち、生産指数は52.5と同-0.6ポイント低下し、2カ月連続の悪化。新規受注指数は50.9となり、同-0.7ポイント低下し、4カ月連続の悪化。輸出新規受注指数は同-1.5ポイント大幅低下し48.4となり、2カ月連続で50を下回った。加えて、雇用指数は48.2となり、前月から-0.2ポイント低下し、2カ月ぶりのマイナスとなった。2012年6月以来、29カ月連続で50を下回っている。景況指数は全て前月から悪化した。

中国製造業購買担当者景況指数(2014年11月まで：%)



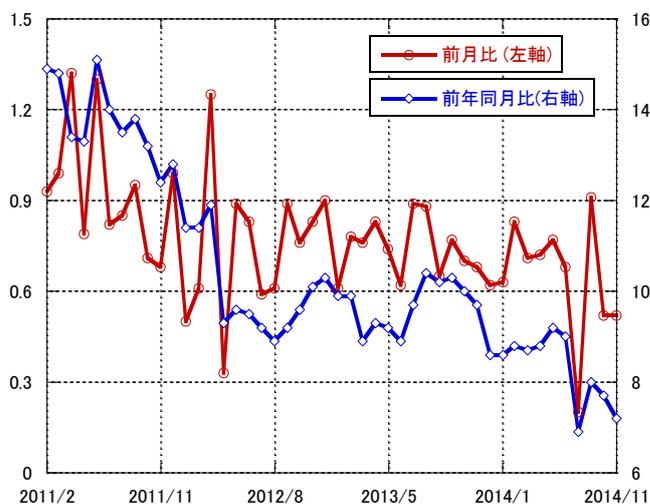
出所：中国国家统计局; CEIC データベース

(2) 工業生産

11月の工業生産は、前月比+0.5%と、前月と同じ伸びとなった。前年同月比は+7.2%となり、前月から-0.5ポイント低下し、2カ月連続の減速。

産業別に見ると、鉄道・輸送機器製造業(同+12.9%)、医薬製造業(同+12.9%)、パソコン・通信設備製造業(同+12.6%)、有色金属圧延加工業(同+11.4%)、が高い伸びを示す一方で、鉄鋼などの製錬・圧延加工業(同+5.9%)、専用設備製造業(同+5.4%)、電力・熱力生産・供給業(同+2.0%)等は比較的低調な伸びにとどまった。

工業生産指数(2014年11月まで：%)

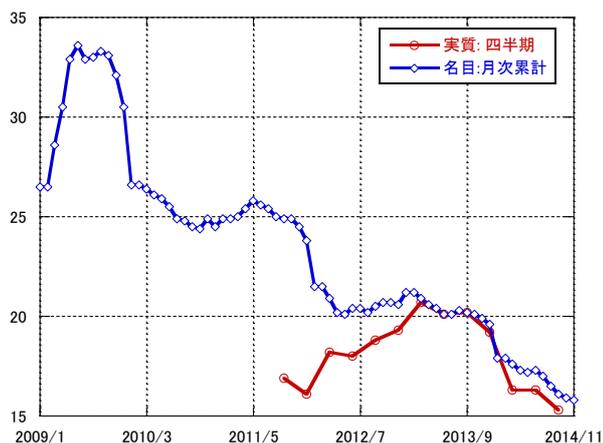


出所：中国国家统计局; CEIC データベース

(3) 固定資産投資

2014年1-11月期の(累積)固定資産投資(名目)は前年同期比+15.8%となった。5カ月連続で減速している(1-10月期:同+15.9%)。

固定資産投資 (2014年11月まで:%) (累積伸び率)



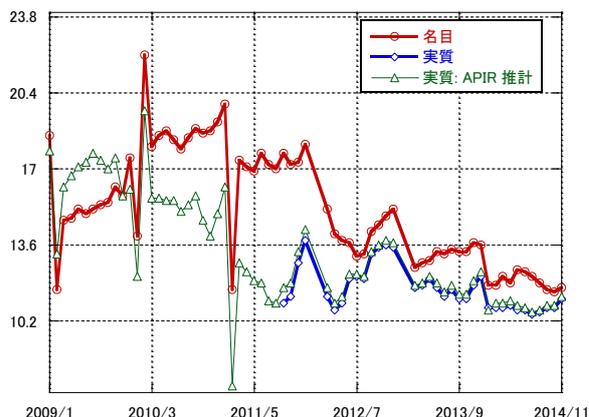
出所: 中国国家统计局; CEIC データベース

産業別に見れば、第1次産業は同+29.9% (前月+28.9%)、第2次産業は同+13.3% (前月+13.4%)、第3次産業は同+17.1% (前月+17.4%) となった。

(4) 消費

11月の社会消費品小売総額の名目成長率は前年同月比+11.7%となり、前月(同+11.5%)から幾分増加した。消費は中国経済成長のエンジンと期待されており、6カ月ぶりの改善となった。

社会消費品小売総額 (2014年11月まで:%)



注: APIR 値は小売価格指数を用いて計算した値

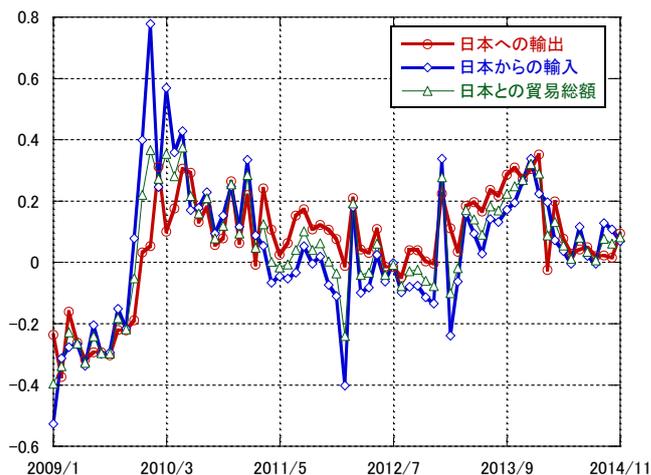
出所: 中国国家统计局; CEIC データベース

(5) 貿易動向

11月の中国の輸出額(速報値、ドル・ベース)は前年同月比+4.7%増加し、8カ月連続のプラスとなった。輸入額は同-6.7%(速報値)となり、3カ月ぶりにマイナスに転じた。

うち日本への輸出額は同-5.8%となり、4カ月連続のマイナスとなった。日本からの輸入額は同-8.0%となり、3カ月ぶりのマイナスに転じた。

日本との貿易 (前年同月比; 円ベース) (2014年11月まで:%)



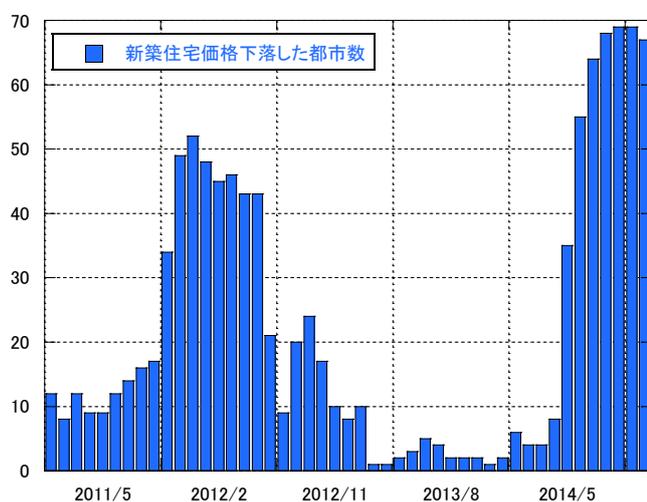
出所: 中国税関; CEIC データベース; APIR 計算

円ベースに換算すると、日本への輸出額は同+9.4%となり、9
カ月連続のプラス。日本からの輸入額は同+7.0%となり、3カ
月連続のプラスとなった。

(6) 不動産市場

11月の不動産価格を見れば、中国主要70都市のうち、67
都市で新築住宅価格が前月に比べて下落し、3都市が横ばい
となった。価格が下落した都市の数は10月の69都市より減
少したものの、依然水準は高く、下半期の中国経済は引き続
き下振れリスクに直面する。

新築住宅価格の主要都市集計 (2014年11月まで：都市数)



出所：中国国家统计局; CEIC データベース;

Contact：岡野光洋・林万平・木下祐輔

Tel. 06-6485-7695,

E-mail. contact@apir.or.jp

【主要月次統計】

月次統計	13/11M	13/12M	14/01M	14/02M	14/03M	14/04M	14/05M	14/06M	14/07M	14/08M	14/09M	14/10M	14/11M
景況感													
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、合計)	55.8	56.1	55.6	56.3	60.8	43.6	45.9	47.9	51.4	49.3	49.4	47.0	45.4
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、家計)	54.6	54.1	53.7	53.4	60.1	40.4	43.1	46.8	50.3	49.9	50.2	45.9	43.2
[関西]景気ウォッチャー調査(先行き、合計)	58.5	57.3	49.9	42.0	36.0	51.4	54.1	54.5	51.9	51.9	51.5	50.0	48.2
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、合計)	53.5	55.7	54.7	53.0	57.9	41.6	45.1	47.7	51.3	47.4	47.4	44.0	41.5
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、家計)	51.3	53.1	52.2	50.2	57.0	37.2	42.1	45.1	49.4	45.8	46.7	42.3	39.5
[全国]景気ウォッチャー調査(先行き、合計)	54.8	54.7	49.0	40.0	34.7	50.3	53.8	53.3	51.5	50.4	48.7	46.6	44.0
消費者心理・小売り													
[関西]消費者態度指数(原数値)	41.0	40.3	39.9	37.6	36.8	37.1	39.5	41.2	41.6	41.5	39.6	38.8	36.8
[関西]「暮らし向き」(原数値)	38.7	37.6	37.2	34.7	34.1	34.2	37.0	38.5	38.8	39.8	36.9	36.6	34.8
[関西]「収入の増え方」(原数値)	38.4	38.0	37.3	36.5	37.0	37.1	37.7	37.7	38.7	38.7	38.0	38.4	36.6
[関西]「雇用環境」(原数値)	46.1	46.5	48.6	46.3	45.3	44.5	45.7	48.4	48.4	47.7	45.7	43.7	41.4
[関西]「耐久消費財の買い時判断」(原数値)	40.7	39.2	36.7	33.0	31.0	32.5	37.6	40.1	40.4	39.8	37.9	36.3	34.4
[全国]消費者態度指数(季節調整値)	42.4	41.3	40.3	38.5	37.5	37.0	39.3	41.1	41.5	41.2	39.9	38.9	37.7
[関西]乗用車新規登録届出数(前年同月比%)	16.2	24.6	28.2	20.8	20.4	-8.9	-2.5	-1.8	-1.4	-9.2	0.0	-5.9	UN
[関西]家電販売額(前年同月比%)	6.1	-1.2	11.0	34.4	68.6	-18.4	-13.2	-12.3	-3.3	-10.7	-12.1	-11.3	UN
[関西]大型小売店販売額(10億円)	329.6	415.9	333.0	286.6	377.8	281.1	303.7	314.0	335.1	311.0	294.1	308.1	UN
[関西]大型小売店販売額(前年同月比、全店)	1.1	1.0	1.0	3.4	19.3	-5.5	0.0	-1.0	0.5	2.4	1.6	1.0	UN
[全国]大型小売店販売額(10億円)	1696.3	2139.9	1711.7	1489.0	1956.2	1467.7	1592.4	1631.7	1717.4	1626.3	1531.3	1606.4	UN
[全国]大型小売店販売額(前年同月比、全店)	1.2	0.9	0.7	2.4	17.0	-6.1	-0.5	-1.2	0.3	2.8	1.7	1.0	UN
住宅・建設													
[関西]新設住宅着工(戸数)	13938.0	14737.0	11299.0	9592.0	11170.0	12424.0	10095.0	12018.0	10038.0	12764.0	11707.0	10816.0	UN
[関西]新設住宅着工(前年同月比%)	37.9	33.1	11.7	-13.3	2.5	16.9	-18.6	-1.6	-20.5	10.6	-14.0	-27.3	UN
[全国]新設住宅着工(戸数)	91475.0	89578.0	77843.0	69689.0	69411.0	75286.0	67791.0	75757.0	72880.0	73771.0	75882.0	79171.0	UN
[全国]新設住宅着工(前年同月比%)	14.1	18.0	12.3	1.0	-2.9	-3.3	-15.0	-9.5	-14.1	-12.5	-14.3	-12.3	UN
[関西]マンション契約率(季節調整値)	79.2	71.7	72.1	80.6	75.9	73.0	81.3	72.7	73.8	70.3	79.4	72.8	84.3
[関西]マンション契約率(原数値)	76.0	69.9	65.2	77.4	77.8	74.3	85.3	76.4	77.1	71.7	76.9	74.1	80.9
[全国]マンション契約率(季節調整値)	79.4	75.0	84.2	81.8	75.4	72.4	78.1	73.4	84.0	72.3	71.6	65.5	78.2
[全国]マンション契約率(原数値)	79.6	76.1	78.6	80.6	79.8	74.7	78.9	76.6	83.7	69.6	71.6	63.3	78.4
[関西]公共工事前払保証額(10億円)	111.2	112.6	94.3	78.9	132.2	187.0	173.7	188.3	164.5	116.7	148.5	150.4	88.9
[関西]公共工事前払保証額(前年同月比%)	-7.0	37.8	33.2	-6.8	20.8	20.3	21.1	25.0	12.2	-2.0	-11.3	10.8	-20.0
[全国]公共工事前払保証額(10億円)	941.6	886.0	777.6	695.9	1456.8	1758.3	1312.6	1585.5	1627.3	1127.6	1398.4	1316.1	843.7
[全国]公共工事前払保証額(前年同月比%)	4.9	7.5	28.8	3.7	18.1	10.0	21.1	14.3	3.5	-8.1	-8.2	-7.4	-10.4
[関西]建設工事(総合、10億円)	569.5	595.0	592.7	585.3	567.9	442.4	450.5	462.1	475.6	506.1	534.1	556.5	UN
[関西]建設工事(総合、前年同月比%)	19.3	16.4	11.6	10.5	10.1	4.9	5.7	4.2	4.9	4.8	2.3	3.0	UN
[全国]建設工事(総合、10億円)	4779.7	4920.2	4672.1	4607.0	4551.9	3512.0	3435.2	3634.4	3738.2	4030.9	4333.2	4522.6	UN
[全国]建設工事(総合、前年同月比%)	17.9	16.9	14.3	12.1	10.9	6.6	3.7	2.8	0.5	1.2	0.3	-0.6	UN
[全国]建設工事(公共工事、10億円)	2171.5	2259.8	2111.5	2123.8	2124.6	1378.3	1301.1	1410.8	1485.5	1703.7	1933.3	2098.8	UN
[全国]建設工事(公共工事、前年同月比%)	24.2	20.9	15.7	14.7	13.8	9.7	9.4	9.4	6.3	8.7	6.7	5.1	UN
生産													
[関西]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	100.2	100.6	105.9	105.3	105.9	106.5	109.2	106.7	107.6	103.2	108.6	109.6	UN
[関西]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	-0.2	0.4	5.3	-0.6	0.6	0.6	2.5	-2.3	0.8	-4.1	5.2	0.9	UN
[関西]「出荷指数」(原数値、前年同月比%)	1.0	3.6	8.5	6.3	6.7	3.0	1.5	5.5	1.3	-1.7	7.9	6.8	UN
[関西]「在庫指数」(原数値、前年同月比%)	0.7	3.1	3.1	3.0	2.4	3.7	6.4	6.4	6.7	7.7	6.6	4.1	UN
[関西]「出荷指数」(季節調整値、10年=100)	101.6	101.7	107.5	106.3	106.7	102.4	102.8	102.9	101.6	99.2	106.5	107.2	UN
[関西]「出荷指数」(季節調整値、前月比)	1.2	0.1	5.7	-1.1	0.4	-4.0	0.4	0.1	-1.3	-2.4	7.4	0.7	UN
[関西]「在庫指数」(季節調整値、10年=100)	112.0	114.4	114.9	114.5	112.8	114.9	117.5	117.6	120.4	119.8	120.0	118.1	UN
[関西]「在庫指数」(季節調整値、前月比)	-1.2	2.1	0.4	-0.3	-1.5	1.9	2.3	0.1	2.4	-0.5	0.2	-1.6	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	99.5	100.0	103.9	101.5	102.2	99.3	100.0	96.6	97.0	95.2	98.0	98.4	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	0.3	0.5	3.9	-2.3	0.7	-2.8	0.7	-3.4	0.4	-1.9	2.9	0.4	UN
[全国]「出荷指数」(原数値、前年同月比%)	6.6	6.4	9.3	6.5	6.5	2.4	-0.8	2.2	-0.1	-3.7	1.7	-0.4	UN
[全国]「在庫指数」(原数値、前年同月比%)	-5.1	-4.3	-3.9	-3.4	-1.4	-1.9	0.8	2.8	2.9	4.6	4.0	3.8	UN
[全国]「出荷指数」(季節調整値、10年=100)	99.1	99.3	104.4	103.4	103.2	98.0	97.0	95.2	95.9	93.9	98.0	98.6	UN
[全国]「出荷指数」(季節調整値、前月比)	0.1	0.2	5.1	-1.0	-0.2	-5.0	-1.0	-1.9	0.7	-2.1	4.4	0.6	UN
[全国]「在庫指数」(季節調整値、10年=100)	105.7	105.5	105.1	104.2	105.7	105.2	108.4	110.6	111.6	112.6	111.8	111.3	UN
[全国]「在庫指数」(季節調整値、前月比)	-1.4	-0.2	-0.4	-0.9	1.4	-0.5	3.0	2.0	0.9	0.9	-0.7	-0.4	UN
労働													
[関西]現金給与総額(2府4県、前年同月比%)	-0.1	-0.6	-0.8	-0.3	0.8	0.3	0.8	2.4	2.2	0.2	0.6	UN	UN
[関西]現金給与総額(2府1県、前年同月比%)	-0.2	-1.0	-0.5	-0.4	0.6	0.1	0.6	2.3	2.2	0.1	0.5	UN	UN
[全国]現金給与総額(前年同月比%)	0.6	0.5	-0.2	-0.1	0.7	0.7	0.6	1.0	2.4	0.9	0.7	0.2	UN
[関西]完全失業率(季節調整値)	3.9	3.9	4.1	4.1	4.1	4.2	4.0	4.5	4.7	4.0	4.2	4.1	UN
[関西]完全失業率(原数値)	3.9	3.6	4.2	4.3	4.4	4.3	4.0	4.2	4.7	4.0	4.1	4.3	UN
[全国]完全失業率(季節調整値)	4.0	3.7	3.7	3.6	3.6	3.6	3.5	3.7	3.8	3.5	3.6	3.5	UN
[関西]新規求人倍率(季節調整値)	1.48	1.58	1.56	1.63	1.62	1.55	1.55	1.61	1.57	1.56	1.57	1.61	UN
[全国]新規求人倍率(季節調整値)	1.56	1.64	1.63	1.67	1.66	1.64	1.64	1.67	1.66	1.62	1.67	1.69	UN
[関西]有効求人倍率(季節調整値)	0.94	0.96	0.98	1.00	1.00	1.01	1.02	1.02	1.03	1.03	1.01	1.02	UN
[全国]有効求人倍率(季節調整値)	1.00	1.03	1.04	1.05	1.07	1.08	1.09	1.10	1.10	1.10	1.09	1.10	UN
国際貿易													
[関西]純輸出(10億円)	-106.0	-77.0	-461.8	51.8	-110.9	-10.7	-27.7	-22.5	-61.9	44.6	-65.6	3.8	-21.9
[関西]輸出(10億円)	1242.3	1308.4	1087.7	1212.5	1351.7	1312.7	1231.2	1288.9	1310.8	1273.5	1348.5	1425.3	1322.4
[関西]輸出(前年同月比%)	15.6	10.6	10.3	15.0	3.1	8.6	1.2	1.5	5.5	1.3	7.5	11.0	6.4
[関西]輸入(10億円)	1348.3	1385.4	1548.3	1160.7	1462.6	1323.4	1258.8	1311.4	1373.9	1228.8	1414.1	1421.5	1344.3
[関西]輸入(前年同月比%)	12.2	22.6	26.6	7.6	20.0	2.8	0.0	13.9	0.6	-1.7	9.7	1.8	-0.3

注1：鉱工業生産 輸送機械工業は鋼船・鉄道車両除く

Release Calendar for APIR Monthly

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
1-Dec 中国製造業 PMI (11月)	2-Dec 毎月勤労統計 (10月:速報値)	3-Dec	4-Dec	5-Dec
8-Dec 景気ウォッチャー調査 (11月) 中国輸出入 (11月:速報値)	9-Dec	10-Dec 消費動向調査(11月) 近畿鉱工業生産指数 (10月速報) 中国工業生産(11月)	11-Dec	12-Dec 全国鉱工業生産指数 (10月:確報値) 商業動態調査 (10月:確報値) 中国固定資産投資 (11月) 中国消費小売総額 (11月)
15-Dec マンション契約率 (11月) 公共工事前払保証額 統計(11月)	16-Dec	17-Dec 全国貿易統計 (11月:速報) 近畿貿易統計 (11月速報) 建設総合統計(10月)	18-Dec 毎月勤労統計 (10月:確報値) 中国不動産市場 (11月)	19-Dec
22-Dec	23-Dec	24-Dec 近畿貿易統計 (11月確速)	25-Dec 新設住宅着工(11月) 全国貿易統計 (11月:確速) 近畿鉱工業生産指数 (10月確報)	26-Dec 毎月勤労統計 (11月:速報値) 全国鉱工業生産指数 (11月:速報値) 商業動態調査 (11月:速報値) 求人倍率(11月) 完全失業率(11月)
29-Dec	30-Dec	31-Dec	1-Jan	2-Jan